opusdei.org

46. イエスの奇跡を 如何に説明します か?

イエスが奇跡を行ったのは、 神の国がイエスのうちに現存 することを確認するため、思 霊の決定的な敗北を知らしま るため、そしてイエスご自身 に対する信仰を深めさせる めでした。

2016/09/28

イエスに対するユダヤ人や異教徒の 最も古い非難の中に、イエスは魔術

師であるというのがあります。2世 紀にチェルソがナザレの教師は魔術 を行うと非難しましたが、オリゲネ スはそれを論駁しました。聖ユス ティノ、アルノビウス、ラクタン ティウスもこの点に言及していま す。また、2世紀に遡るユダヤのあ る伝承にも魔法に対する非難が含ま れています。いずれの非難も、イエ スの存在やその奇跡を否定するもの ではなく、その動機についての非難 だったのです。つまり、イエスは個 人的な利益と名声を望んで奇跡を 行ったと言っているのです。これら の主張から、福音書が示しているよ うに、イエスの歴史的な存在並びに 奇跡を行う人間としての評判をうか がうことができます。従って、こん にち、イエスの生涯に関する証明を していると言われる資料の中に、悪 魔払いや治療を行ったという事実が 記されているということになりま す。

それにもかかわらず、同じ時代に奇 跡を起こしたことで知られている他 の人物との関係を見ても、イエスは 特別です。イエスが行った「奇跡の 数|とその「意味|という点で、他 の奇跡とは際立った違いがありま す。他の人たちが仮に奇跡を行った ことを認めたとしても、イエスの奇 跡は全く異なる性格の奇跡でした。 「奇跡の数」に関して言うなら、イ エス以外の者たちは僅かの奇跡しか 行っていません。イエスの場合、マ タイによる福音書に19、ルカに20、 そしてヨハネに8の奇跡が記されて います。それに加えて共観福音書と ヨハネには他にも、イエスが行った 他の多くの奇跡への言及があります (マルコ1,32-34; 3,7-12; 6,53-56; ヨ ハネ20,30参照)。「奇跡の意味」に 関してもイエスの奇跡は他のいかな る魔術師の奇跡とも異なっていまし た。イエスは奇跡の恵みを受けた者 が神の恩恵に感謝し、生活を改める ことを目的として奇跡を行いまし

た。自分自身に対する賛美や栄光を 求めなかったことの証拠として、イ エスは奇跡を行うことにあまり乗り 気でなかったことをあげることがで きます。イエスの奇跡には独自の 「意味」があったのです。

イエスの奇跡は神の国との関係において理解できます。「わたしが神の霊で悪霊を追い出しているのであれば、神の国はあなたたちのところに来ているのだ」(マタイ12,28)。イエスは神の国を始め、人々が信じびかようにと、その奇跡によって呼るかけたのです。この点はイエスの奇跡の基本かつ特徴であって、その奇跡と神の国とは不可分なのです。

イエスの奇跡は、医者のように技術 的なものではなく、魔術師のように 悪魔や天使の行為でもなく、神の霊 の超自然の力によるのです。

従って、イエスが奇跡を行ったの は、神の国がイエスのうちに現存す

ることを確認するため、悪霊の決定 的な敗北を知らしめるため、そして イエスご自身に対する信仰を深めさ せるためでした。奇跡は単に驚くべ き出来事であるだけはありません。 奇跡的な出来事そのものよりも更に 深い意味を伴った神自身の行為とし て考えて始めて説明できるもので す。自然界に対する奇跡は、イエス のうちに働く神の力が人間世界のか なたにまで広がること、また神の力 が自然を支配することを示す証拠で す。治療の奇跡や悪魔払いは魂を脅 かす悪から人間を救う力をイエスが 示したことの証拠です。これらすべ ての奇跡は、もう一つの霊的な現実 を示しています。すなわち、肉体の 治療一つまり病気の隷属からの解放 一は、罪の奴隷状態からの解放とい う霊的治癒を意味します。悪霊を追 い払う力は、悪に対するイエスの勝 利を示します。パンを増やす奇跡 は、聖体の賜物を暗示しています。 イエスが鎮めた嵐は、波乱に満ちた

困難なときに私たちをキリストへの 信仰へと導きます。ラザロの復活 は、キリストが復活そのものであ り、終りにおける私たちの復活の象 徴です。

参考書: V. BALAGUER (ed), Comprender los evangelios, Pamplona 2005; R. LATOURELLE, Milagros de Jesús y teología del milagro, Salamanca 21990; 『カト リック教会のカテキズム』 541-550 番.

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/iesu-shitsumon-46/ (2025/12/10)